

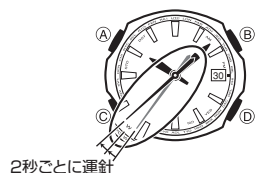
お使いになる前に

■十分に光を当ててください

本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっています。保管期間により電池容量が減っている場合がありますので、お使いいただく前に十分に充電してください。詳しくは「ソーラー充電について」をご覧ください。

●充電切れ予告

二次電池の容量が少なくなると、時刻モードで秒針が2秒ごとに運針を行ない、充電不足をお知らせします。詳しくは「ソーラー充電について」の「充電切れ予告」をご覧ください。



2秒ごとに運針

■パワーセービング機能について

パワーセービング機能とは、暗いところに本機を放置すると自動的に針の動きを停止してスリープ状態にし、節電する機能です。文字板に光をあてるかボタン操作をすることでスリープ状態は解除されます。

※針は停止していますが、時計内部では時を刻み続けています。

※時計が袖などで隠れている場合でも、スリープ状態になることがあります。

〈参考〉スリープ状態になるには

●スリープレベル1

午後10時～午前6時の間、暗いところで本機を約1時間放置します。

- ・秒針がその場で停止します。

※時針、分針、日付表示は運針を継続します。

※自動受信は行ないます。

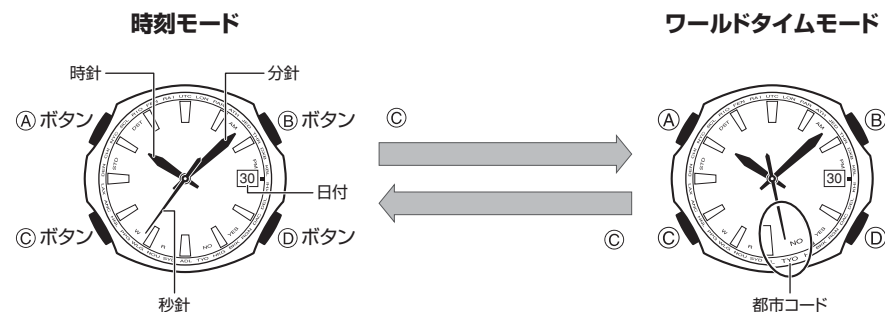
●スリープレベル2

スリープレベル1のまま暗いところで6～7日間経過します。

- ・時針、分針はその場で停止します。
- ・ワールドタイムモードの場合は、時刻モードの時刻が「0:00」になったときに停止します。
- ・自動受信は行ないません。

※日付表示は運針を継続します。

操作のしくみと表示の見方 ※機種により形状や文字板の印刷内容が異なります。



●A ボタン

- ・1回押すと受信結果を確認できます（「受信結果の確認」参照）。

●D ボタン

- ・1回押すとホームタイム都市を確認できます（「ホームタイム都市、サマータイム設定を確認する」参照）。

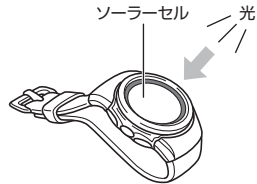
●針位置自動補正中を除き、C ボタンを約2秒間押し続けると、どの状態からでも時刻モードに戻ります。

●電波受信については「電波時計について」参照。

ソーラー充電について

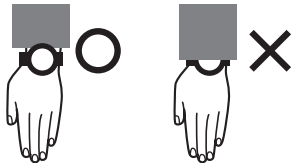
本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。
安定した状態でお使いいただくためには、本機のソーラーセルに光が当たるようにしてお使いください。

- 腕から外したときは文字板（ソーラーセル）を明るい方に向けて置くなどして、充電を心掛けてください。



蛍光灯下や窓際などの光が当たる所に置いてください。

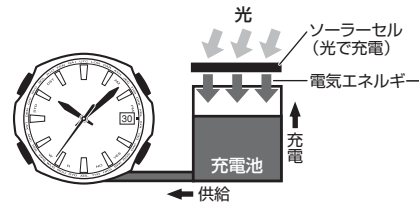
- 腕に付けているときはなるべく衣類の袖が文字板（ソーラーセル）にかからないように使用してください。



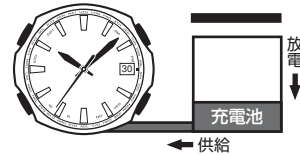
一部でも袖に隠れていると、充電効率が著しく低下します。

- 光が当たっているときと当たらないとき

〈光が当たっているとき〉



〈光が当たっていないとき〉



時計は光が当たらないときでも常に動いていますので、このままでは充電電池の容量が減って機能が使えなくなります。

- リカバー状態について

電波受信などを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、一時的に運針を停止し、全ての機能が使えなくなる場合があります。
時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。

- 充電切れ予告

二次電池の容量が少なくなると、時刻モードで秒針が2秒ごとに運針を行ない、充電不足をお知らせします。

※時計機能停止状態になっても再度充電を行なうと使用できます。

※時計機能停止状態から充電したときは、十分に充電されると針が現在時刻の位置まで移動します。

※通常状態になるまで十分に光を当ててから、ご使用ください。

- 充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。

- 炎天下に駐車中の車のダッシュボード
- 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
- 直射日光が長く当たって、高温になる所

充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようご注意ください。

〈通常状態〉



1秒ごとに運針

↓ 充電不足になると

〈充電警告状態〉

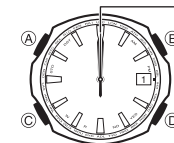


2秒ごとに運針

基準位置表示

↓ 更に充電不足になると

〈機能停止状態〉



午前12時になると、日付が1日（基準位置）へ移動します。

〈注意〉

以下の機能は使用できません。

- ・自動受信および手動受信

12時位置で停止

秒針が12時位置で停止し、時針、分針は午前12時に運針を停止します。

- 充電の目安

- ・1日、安定した状態で時計を使用するために必要な充電時間

※1日当たり電波受信を約4分間行なった場合。

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約8分
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約30分
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約48分
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約8時間

- ・各レベルに回復するための充電時間

環境（照度）	充電時間	
	運針開始まで	フル充電まで
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約2時間	約25時間
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約6時間	約92時間
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約9時間	---
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約101時間	---

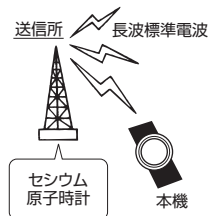
※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

※こまめに充電を行なえば、安定した状態でご使用いただけます。

電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



電波時計は正確な標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

■ 標準電波

- 日本の標準電波(JJY)は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)が運用しており、福島県田村郡の「おたかどや山(40kHz)」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山(60kHz)」から送信されています。
- 中国の標準電波(BPC)は中国科学院の国家授時中心(NTSC)が運用しており、河南省商丘市から送信されています。
- アメリカの標準電波(WWVB)はNational Institute of Standards and Technology(NIST)が運用しており、コロラド州にあるフォートコリンズから送信されています。
- イギリスの標準電波(MSF)はNational Physical Laboratory(NPL)が運用しており、イングランド北部のアンソーンから送信されています。
- ドイツの標準電波(DCF77)はPhysikalisch-Technische Bundesanstalt(PTB)が運用しており、フランクフルト南東に位置するマインフリンゲンから送信されています。

※標準電波や送信所に関する情報は、変更になる場合があります。

日本の標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることがあります。
詳しい情報は独立行政法人情報通信研究機構(NICT) 日本標準時プロジェクトのホームページをご覧ください。

<http://jjy.nict.go.jp>

※ホームページのアドレスは変更になる場合があります。

■ 電波の受信範囲の目安

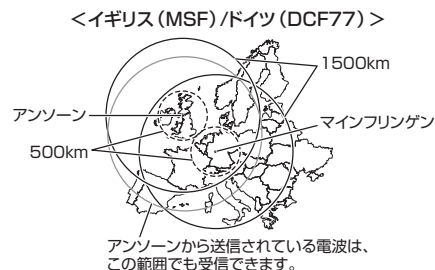
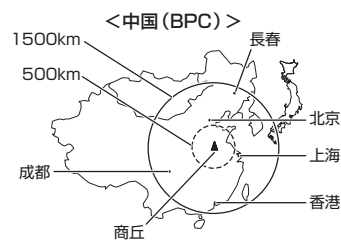
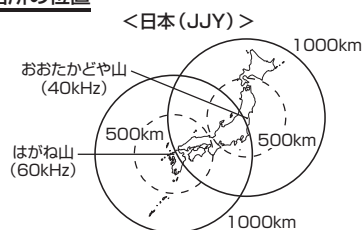
本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると、その都市に対応した標準電波を受信します。

※ホームタイム都市の設定については「ホームタイム都市、サマータイム設定を変更する」参照。都市コードについては「都市コード一覧表」参照。

ホームタイム都市 (受信機能対応都市)	受信電波
TYO	日本の標準電波(JJY)
HKG	中国の標準電波(BPC)
HNL, ANC, LAX, DEN, CHI, NYC	アメリカの標準電波(WWVB)
LON, PAR, ATH	イギリスの標準電波(MSF)、ドイツの標準電波(DCF77)

※HNL, ANCの各都市は、受信機能対応都市としています。条件が良ければ受信する場合もあります。

送信所の位置



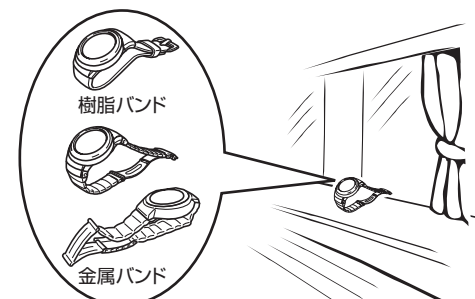
- 受信環境により、図の範囲内でも電波を受信できない場合があります。内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、受信環境の影響はより大きくなります。
※受信に影響を与える環境・・・地形、建物、天気、季節、時間帯(昼・夜)、各種ノイズ

■ 受信時間について

受信時間はおおよそ2～7分です。
※ただし、周波数を変えて再受信するため、最大14分かかる場合があります。

■ 電波受信を行なうときの場所について

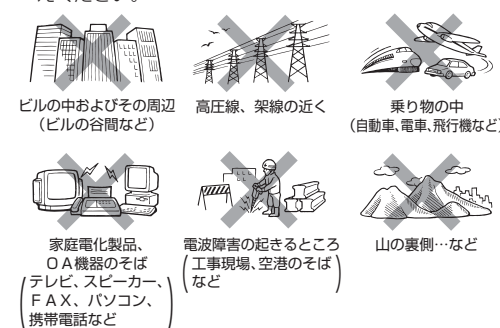
本機を腕からはずし、金属をさけて下図のように時計上部(12時位置のアンテナ)を外に向けて窓際に置いてください。



- 時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
- 受信中、時計を動かさないようにしてください。

●ご注意

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。
※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。



受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

■ 受信方法について

- 受信方法には、以下の2種類があります。
- 自動受信：1日最大6回(中国電波は1日最大5回)
 - 手動受信：必要ときに、ボタンを押して受信を行います

■ 自動受信

●自動受信を行なうときは、以下の操作を行なってください。

- 時刻モードのホームタイム都市に、現在地で受信可能な電波に対応した都市を設定する(「電波の受信範囲の目安」,「ホームタイム都市、サマータイム設定を変更する」参照)
- 「操作のしくみと表示の見方」にしたがって「時刻モード」または「ワールドタイムモード」にする
- 下記の表中の「自動受信開始時刻」前に、「電波受信を行なうときの場所について」にしたがって本機を置く

●時刻モードの時刻(「操作のしくみと表示の見方」参照)が下記の表中の自動受信開始時刻になると、1日最大6回(中国電波は1日最大5回)、自動的に受信を行ないます。ただし、1日1回受信が成功すれば、それ以降、その日の自動受信は行ないません。

また、自動受信開始時刻は、設定したホームタイム都市やサマータイム設定によって異なります。

※サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻(スタンダードタイム)から1時間進める夏時間制度のことです。

※サマータイムを採用していない国や地域があります。

※サマータイムを採用していても、その期間は国や地域により異なります。

ホームタイム都市		自動受信開始時刻					
		1	2	3	4	5	6
TYO	スタンダードタイム	午前12時	午前1時	午前2時	午前3時	午前4時	午前5時
HKG	スタンダードタイム	午前1時	午前2時	午前3時	午前4時	午前5時	
HNL, ANC, LAX, DEN, CHI, NYC	スタンダードタイム サマータイム	午前12時	午前1時	午前2時	午前3時	午前4時	午前5時
LON	スタンダードタイム	午前1時	午前2時	午前3時	午前4時	午前5時	翌日午前12時
	サマータイム	午前2時	午前3時	午前4時	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時
PAR	スタンダードタイム	午前2時	午前3時	午前4時	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時
	サマータイム	午前3時	午前4時	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時	翌日午前2時
ATH	スタンダードタイム	午前3時	午前4時	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時	翌日午前2時
	サマータイム	午前4時	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時	翌日午前2時	翌日午前3時

★受信を中止するときは

いずれかのボタンを押します

■ 受信結果の確認

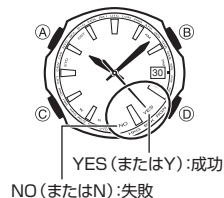
時刻モードのとき

④ ボタンを押します

→受信確認状態になり、受信結果を表示します。受信が成功しているときは秒針が「YES」(または「Y」)(成功)を指し、受信が失敗しているときは「NO」(または「N」)(失敗)を指します。

※時刻モードに戻すには、① ボタンを1回押します。

※約5秒間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。



受信結果は受信ごとにリセットされます。

■ 受信に関するご注意

●自動受信中にボタン操作を行なうと、受信を中断します。

●受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯(昼・夜)などによってうまく受信できないことがあります。

●電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。

●電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。

●電波受信を行なわないときは、平均月差±15秒以内の精度範囲で動きます。

●極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。

●本機のカレンダー機能は2099年までですので、2100年以降は受信してもエラーとなります。

★受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、時刻モードに戻って修正した時刻を表示します。

★受信が失敗すると

時刻修正は行なわずに、時刻モードの表示に戻ります。

■ 手動受信

必要なときに、ボタンを押して受信を行ないます。

●手動受信を行なうときは、以下の操作を行なってください。

- 時刻モードのホームタイム都市に、現在地で受信可能な電波に対応した都市を設定する(「電波の受信範囲の目安」,「ホームタイム都市、サマータイム設定を変更する」参照)
- 「操作のしくみと表示の見方」にしたがって「時刻モード」にする
- 「電波受信を行なうときの場所について」にしたがって本機を置く

時刻モードのとき

① ボタンを約2秒間押し続けます

→秒針が電波受信結果を表示後、「READY」(または「R」)位置に移動します。

※時針、分針は通常通り運針します。



★受信中は

●秒針が「WORK」(または「W」)位置に移動します。

※時針、分針は通常通り運針します。

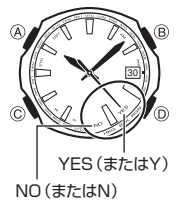
※受信が完了するまで、時計を動かさずにください。

※受信環境によっては、受信動作が安定するまで、秒針が「READY」(または「R」)位置と「WORK」(または「W」)位置とを繰り返し移動することがあります。

★受信完了

●受信が成功すると、時刻を修正し、秒針が動き出します。時刻修正後、秒針が「YES」(または「Y」)位置に移動します。約5秒後に時刻モードに戻ります。

●受信が失敗すると、秒針が「NO」(または「N」)位置に移動し、受信操作前の時刻に合わせて秒針が動き出します。約5秒後に時刻モードに戻ります。



■ こんなときには

1. 電波が受信できません。

●電波受信環境が悪い場所にいませんか。電波受信できる地域であっても電波が遮断されたり、発生するノイズにより受信しにくくなります。受信はこのような場所を避けて行ってください。(「電波受信を行なうときの場所について」の「ご注意」参照)

●電波が受信できない地域にいませんか。電波受信ができる地域は、「電波の受信範囲の目安」をご覧ください。

●ホームタイム都市が正しく設定されていますか。「ホームタイム都市、サマータイム設定を変更する」をご覧ください。

●電波の送信が中断していませんか。電波時計が利用している標準電波は、保守作業や雷対策等で一時的に送信が中断されることがあります。

2. 電波を受信したのに、時報と時計の表示が若干ずれています。

●電波時計は標準電波を受信して時刻修正を行ないますが、時計内部の演算処理等により若干(1秒未満)のずれが発生します。

3. 電波を受信したのに、時刻がくるっっています。

●ホームタイム都市が正しく設定されていますか。「ホームタイム都市、サマータイム設定を変更する」をご覧ください。

●針が基準位置からずれていませんか。強い磁気や衝撃を受けると、針や日付が基準位置からずれることがあり、正しい時刻を表示できません。本機は1時間に1度、自動的に針の基準位置を合わせます。詳しくは「針/日付の基準位置合わせ」をご覧ください。

★電波受信ができないときや受信しても時刻が合わないときなどは、設定を確認してください。

※本機は工場出荷時および電池交換後には、以下の内容でセットされています。

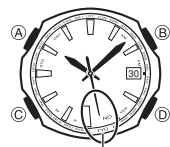
ホームタイム都市	TYO	東京
サマータイム	OFF (STD)	スタンダードタイム

サマータイムについては「サマータイムについて」参照

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい ㉔ ボタンを押して、ワールドタイムモードに切り替えます。

ワールドタイムモードでは、世界29都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。ワールドタイムモードにすると、最初は秒針がホームタイム都市を指します。



都市コード

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

㉔ ボタンを押します

→ ㉔ ボタンを押すごとに秒針が1都市ずつ進みます。

※ ㉔ ボタンを押してから約1.5秒後に選択都市の時刻にかわります。

なお、時刻を表示する（針が止まる）までに時間がかかる場合があります（最大で約1分）。

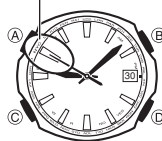
※ 選んだ都市の時刻を表示するために針が動いている間は、次の操作以外はできません。

㉔ ボタン：都市を選ぶ

㉔ ボタン：時刻モードに切り替える

※ 選択都市の時刻が合っていないときは、ホームタイム都市の設定を確認し、違っているときは正しく直してください（「ホームタイム都市、サマータイム設定を変更する」参照）。

都市コード



●AM / PMの確認

ワールドタイムモードのとき

㉔ ボタンを押します

→ AM / PM確認状態になり、秒針が「AM」または「PM」を指します。

※ 確認状態を解除するには ㉔ ボタンをもう一度押すか、約5秒間何も操作を行なわないと、確認状態は自動的に解除されます。

「AM」または「PM」を指します



■サマータイムについて

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から1時間進める夏時間制度のことです。

- サマータイムを採用していない国や地域があります。
- サマータイムを採用していても、その期間は国や地域により異なります。

● サマータイムが OFF に設定されているとき
本機でサマータイムの設定を確認すると、秒針が「STD」（スタンダードタイム）を指します。

● サマータイムが ON に設定されているとき
本機でサマータイムの設定を確認すると、秒針が「DST」を指します。スタンダードタイムより1時間進んでいます（夏時間）。

※ 電波受信が行なえる都市で、次の都市は受信した電波の情報にしたがって、自動的にサマータイムの ON / OFF が切り替わります。

LON/PAR/ATH/TYO/ANC/LAX/DEN/CHI/NYC

※ 次の都市では、自動的に切り替わりません。「サマータイムの ON / OFF 設定」で操作を行なってください。

HKG/HNL

●サマータイムの設定確認

ワールドタイムモードのとき

㉔ ボタンを押して、設定を確認したい都市を選びます

㉔ ボタンを押します

→ サマータイムの設定確認状態になり、秒針が「STD」（サマータイム OFF）または「DST」（サマータイム ON）を指します。

※ 確認状態を解除するには、㉔ ボタンをもう一度押すか、約5秒間何も操作を行なわないと、確認状態は自動的に解除されます。

「STD」または「DST」を指します



●サマータイムの ON / OFF 設定

ワールドタイムモードのとき

㉔ ボタンを押して、設定したい都市を選びます

㉔ ボタンを約2秒間押し続けます

→ ㉔ ボタンを約2秒間押し続けるとサマータイムの ON / OFF が切り替わります。

※ サマータイムは各都市ごとに設定することができます。ただし、「UTC」にはサマータイムの設定はできません。



■「ホームタイム都市」、「サマータイム設定」を変更する

※ ホームタイム都市とサマータイムの設定はワールドタイムモードで行ないます。

1. 都市を選ぶ

ワールドタイムモードのとき

㉔ ボタンを押して、設定したい都市を選びます

※ サマータイムの設定は「サマータイムの ON / OFF 設定」で操作を行なってください。



TYOを選ぶ

2. ホームタイム都市に設定する

㉔ ボタンを約3秒間押し続けます

→ 1. で選んだ都市（東京）がホームタイム都市になり、その後時刻モードに戻り、通常の時刻を表示します。

■ご注意

日本でお使いの場合は、必ずホームタイム都市を「TYO」に設定してください。「TYO」でない場合は、電波受信ができなくなったり、時刻がずれたりします。

■「ホームタイム都市」、「サマータイム設定」を確認する

時刻モードでも、㉔ ボタンを押すとホームタイム都市とサマータイムの設定を確認できます。

時刻モードのとき

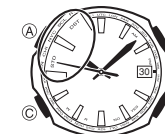
㉔ ボタンを押します

→ 設定確認状態になり、ホームタイム都市を表示します。



TYOを選ぶ

㉔ ボタンをもう一度押すか、約2秒経過するとサマータイムの設定を表示します。



㉔ ボタンをもう一度押すか、約2秒経過すると時刻モードに戻ります。

■ 都市コード一覧表

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
UTC	+0.0	〈協定世界時〉	ADL	+9.5	アデレード
LON	+0.0	ロンドン	SYD	+10.0	シドニー
PAR	+1.0	パリ	NOU	+11.0	ヌーメア
ATH	+2.0	アテネ	WLG	+12.0	ウェリントン
JED	+3.0	ジェッダ	PPG	-11.0	パゴパゴ
THR	+3.5	テヘラン	HNL	-10.0	ホノルル
DXB	+4.0	ドバイ	ANC	-9.0	アンカレジ
KBL	+4.5	カブール	LAX	-8.0	ロサンゼルス
KHI	+5.0	カラチ	DEN	-7.0	デンバー
DEL	+5.5	デリー	CHI	-6.0	シカゴ
DAC	+6.0	ダッカ	NYC	-5.0	ニューヨーク
RGN	+6.5	ヤンゴン	SCL	-4.0	サンティアゴ
BKK	+7.0	バンコク	RIO	-3.0	リオデジャネイロ
HKG	+8.0	香港	FEN	-2.0	フェルナンド・デ・ノロニャ
TYO	+9.0	東京	RAI	-1.0	プライア

※この表は 2008 年 3 月現在作成のものです。

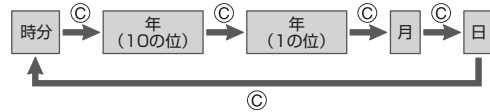
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

※各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

時刻・日付の合わせ方

電波受信ができない場所で本機をお使いになる場合も、以下の操作で時刻や日付を合わせてください。

※時刻、日付の修正は、時刻モードで行ないます。修正できる項目は、③ ボタンを押すごとに、以下の順で切り替わります。



※ホームタイム都市(お使いになる地域や都市)は、ワールドタイムモードで設定します。(ホームタイム都市、サマータイム設定を変更する)参照

■ 「時刻」、「日付」を修正する

1. セット状態にする

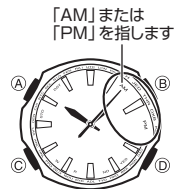
時刻モードのとき

① ボタンを約5秒間押し続けます

⇒秒針がAM(午前)またはPM(午後)を指します。

※セット状態で2~3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。



2. 時分を修正する

④ または ⑥ ボタンを押します

⇒④ ボタンを押すごとに1分ずつ進み、⑥ ボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。

※④・⑥ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。



3. 年(10の位)を修正する

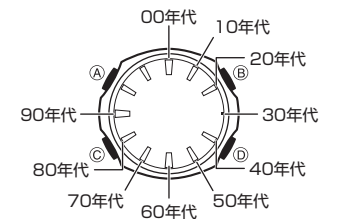
③ ボタンを押します

⇒秒針が現在の年(10の位)の位置を指します。

※秒針の位置で西暦の10の位を表します。

④ ボタンを押します

⇒④ ボタンを押すごとに、10年分ずつ進みます。



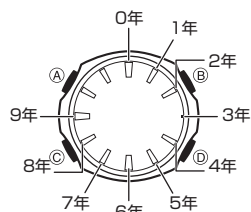
4.年（1の位）を修正する

Ⓒ ボタンを押します

→秒針が現在の年（1の位）の位置を指します。
※ 秒針の位置で西暦の1の位を表します。

Ⓓ ボタンを押します

→Ⓓ ボタンを押すごとに、1年分ずつ進みます。



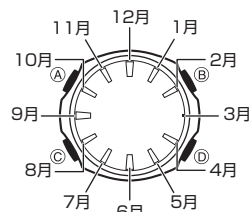
5.月を修正する

Ⓒ ボタンを押します

→秒針が現在の月の位置を指します。
※ 秒針の位置で月を表します。

Ⓓ ボタンを押します

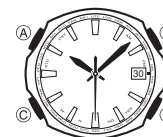
→Ⓓ ボタンを押すごとに、1月分ずつ進みます。



6.日付を修正する

Ⓒ ボタンを押します

→日付を修正する状態になります。



Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

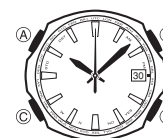
→Ⓓ ボタンを押すごとに1日ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに1日ずつ戻ります。



7.セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

→セット状態が解除され、秒針が0秒から動き始めます。
※ 時報に合わせて押すと、正確に合わせられます。



針／日付の基準位置合わせ

針位置自動補正機能について

針が基準位置からずれると、電波受信を行っても正しい時刻を表示できません。本機は1時間に1度、-55分から+5分までのずれを自動的に直しますので、通常は合わせる必要はありません。すぐに合わせるには以下の操作を行ってください。

※強い磁気や衝撃を受けると、針や日付が基準位置からずれることがあります。

※本機が自動的に針の基準位置を合わせるには、最大で約3分30秒かかります。

※針が1時間以上ずれた場合は「針の基準位置をすぐに合わせる」または「針／日付の基準位置を手動で合わせる」をご覧ください。

※日付がずれた場合は「針／日付の基準位置を手動で合わせる」をご覧ください。

※時刻や日付が合っているときは、針／日付の基準位置合わせを行なう必要はありません。

■ 針の基準位置をすぐに合わせる

時刻モードのとき

Ⓑ ボタンを約6秒間押し続けます

→押し続けると約3秒後に一度秒針が停止しますが、そのまま押し続けてください。秒針がさらに一周して停止したら、ボタンを離します。自動的に針の基準位置合わせを行いますので、そのまましばらくお待ちください（最大で約3分30秒）。基準位置合わせが終わると、時刻モードに戻ります。

※基準位置合わせを中止し、すぐに時刻モードに戻すには、Ⓑ ボタンをもう一度押してください。

※もしも約3秒でⒷ ボタンを離してしまった場合は、手動合わせの状態になります。その場合はⒶ ボタンを押して時刻モードに戻してから、再度操作を行ってください。



■ 針／日付の基準位置を手動で合わせる

1.基準位置確認状態にする

時刻モードのとき

Ⓑ ボタンを約3秒間押し続けます

→押し続けると約3秒後に秒針が基準位置に移動して停止します。秒針が停止したらボタンを離します。

〈基準位置〉
秒針：12時位置



★秒針が基準位置にある場合は、手順3に進みます。

※基準位置確認状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

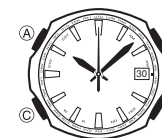
秒針がずれている場合

2.基準位置を合わせる

Ⓓ ボタンを押します

→針が時計回りで回転しますので、基準位置に合わせます。

※Ⓓ ボタンを押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

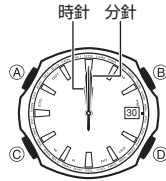


3. 時・分針を確認する

ⓐ ボタンを押します

→ 時・分針が基準位置に移動します。

〈基準位置〉
時針：12 時位置
分針：12 時位置

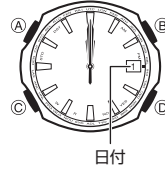


5. 日付を確認する

ⓐ ボタンを押します

→ 日付が基準位置に移動します。

〈基準位置〉
日付：1 日

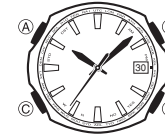


7. 基準位置合わせを終わる

ⓐ ボタンを押します

→ 時刻モードに戻り、通常の時刻を表示します。

※ ⓐ ボタンを押さずに ⓐ ボタンを押すと、最初の秒針の基準位置確認に戻ります。



★ 時・分針が基準位置にある場合は、手順 5. に進みます。

・ 時針と分針がずれている場合 ・

4. 基準位置を合わせる

ⓐ または ⓐ ボタンを押します

→ ⓐ ボタンを押すごとに進み、ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。



※ ⓐ・ⓐ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

★ 日付が基準位置にある場合は、手順 7. に進みます。

・ 日付がずれている場合 ・

6. 基準位置を合わせる

ⓐ または ⓐ ボタンを押します

→ ⓐ ボタンを押すごとに進み、ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。



※ ⓐ・ⓐ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

基準位置合わせが終了したら、電波を受信しやすい場所で「手動受信」を行ない、時刻情報を受信してください。

※ 手動受信の方法については、「手動受信」をご覧ください。